

## 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法 規 12問 30分

### 法 規 ( 1 )

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は、何年と定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 無期限
2. 10年
3. 5年
4. 3年

〔2〕 次の記述は、電波法に規定する「無線従事者」の定義である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者」とは、□であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。

1. 無線設備の操作又はその監督を行う者
2. 無線局に配置された者
3. 無線局を管理する者
4. 無線局を運用する者

〔3〕 免許人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により、総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。

1. 期間を定めた空中線電力の制限
2. 期間を定めた電波の型式の制限
3. 再免許の拒否
4. 期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限

〔4〕 総務大臣から臨時に電波の発射の停止の命令を受けた無線局が、その発射する電波の質を総務省令に適合するように措置したときは、どうするか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を総務大臣に届け出て、電波の発射を開始する。
2. 直ちにその電波を発射する。
3. その旨を総務大臣に申し出る。
4. 他の無線局の通信に混信を与えないように確かめた後、電波を発射する。

〔5〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所

〔6〕 次の記述は、業務書類の備付けに関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び□、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線局事項書
2. 免許人の氏名又は名称を証する書類
3. 免許証
4. 無線検査簿

# 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

## 法 規 ( 2 )

- [7] 無線局を運用する場合において、電波法の規定により、識別信号(呼出符号、呼出名称等をいう。)は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。
1. 無線局免許申請書
  2. 無線局事項書
  3. 免許状
  4. 免許証
- [8] 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。
1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
  2. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
  3. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
  4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
- [9] 非常の場合の無線通信において、無線電信により連絡を設定するための呼出しは、次のどれによって行うことになっているか。
1. 呼出事項に「OSO」1回を前置する。
  2. 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
  3. 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
  4. 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。
- [10] 無線電信通信において、「ラタ」を使用する場合は、次のどれか。
1. 通報の送信が終わるとき。
  2. 通信が終了したとき。
  3. 周波数の変更を完了したとき。
  4. 通報がないことを通知しようとするとき。
- [11] 無線電信通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、無線局運用規則では、1分間について何字と規定されているか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 85字
  2. 75字
  3. 60字
  4. 50字
- [12] 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
- 「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその□を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」
1. 相手方及び記録
  2. 情報
  3. 通信事項
  4. 存在若しくは内容